

平成25年度  
「基盤整備事業」  
事業報告書

平成26年3月

社団法人 日本船舶品質管理協会

基盤整備事業は、本会の自己資金及び日本財団の助成金により実施する事業であって、平成25年度は、次のとおり5事業を実施した。

## 1 品質管理調査研究

事業場における自主検査体制の合理化又は品質の改善を推進するため、各種の調査研究を行い、関係先に対して意見交換、意見具申等を行うことを目的とし、次の事業を行った。

いずれも目標を達成することができた。

### (1) 船用品の改善・品質管理に関する調査研究

新たに型式承認された物件を調査、整理し、「国土交通省型式承認物件一覧表」（平成25年版）を作成し、会員、関係機関等に配付した。

### (2) 業種別部会の開催

#### ① 救命艇装置部会の開催

「救命艇装置の安全性向上のための人材養成事業」として実施している救命艇装置整備技術講習会及び研修会に平成25年度から新たに追加した自由降下式救命艇装置、救助艇装置、FRP補修等の研修に関して、救命艇部会を開催し当会及び参加事業者の役割分担を決めた。

## 2 指導

船舶検査制度の適正、かつ円滑な運用に資するため、必要な指導や情報提供等を行うことを目的に、次の事業を行った。いずれも目標を達成することができた。

### (1) 製造認定事業場継続調査指導

船用機器等の製造認定事業場25事業場の継続指導を実施した。そのうち、6事業場については、製造に必要な施設や関係書類の継続調査指導に加え、当該事業場が認定を受けてから5年目に該当したため、更新申請のための指導、助言並びに関係書類の確認を行った。また、更新に際しての現地審査の立ち会い指導を6事業場について実施した。これらのことから、認定事業場制度に基づく当該事業者の品質管理体制の維持、向上を図ることができた。

### (2) 船用品整備事業場巡回調査指導

膨脹式救命いかだ整備認定事業場の16事業場及びGMDSS救命設備整備証明事業場の17事業場の巡回指導を実施した。

この中で、各事業場については整備に必要な施設、関係書類等について厳正な維持、管理に努めるよう指導するとともに、GMDSS救命設備の整備に必要なシールドルームの電波漏洩状況を測定調査し、電波遮蔽状況が規定値内にあることを確認した。これらのことから、整備認定事業場等の品質管理体制が適切に維持されていることが確認できた。

### (3) 製造認定事業場新規指導

認定事業場の申請を希望する2事業者に対し会員への参画を勧誘し、2事業者の新規取得の為の指導を実施した。

### (4) 内燃機関整備事業場調査指導

整備事業場認定制度の取得を予定している内燃機関整備事業場1事業場の指導を実施した。事業場の整備事業の実態調査を実施するとともに、整備規程の作成及び添付書類の作成について指導を行い、翌年度の申請提出に向けて準備を進めた。

(5) 船用品整備情報の集中管理

当会では、整備物件管理システムを用いて、膨脹式救命いかだ整備事業場及び GMDSS 救命設備整備事業場における膨脹式救命いかだ及び GMDSS 救命設備の整備情報を集中管理し、会員へ整備情報を提供するとともに、海難発生時等における関係者からの問い合わせに対処し、また、各種統計資料の作成等に活用している。

平成25年は、膨脹式救命いかだ8,902台、GMDSS 救命設備10,370台の整備情報を入力した。また、整備事業場からの問い合わせは903件あり、情報提供を行った。

(6) 型式承認物件の承認、変更等に関する指導

関係事業者からの型式承認物件の承認あるいは変更の手続き等についての問い合わせに対応し、適宜指導を行った。

(7) GMDSS 救命設備積付け研修会の開催

GMDSS 救命設備積付け資格者の技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H25. 11. 26 (火)	ホテルコスモスクエア 国際交流センター (大阪市) (受講者 22名)	学科：①GMDSS 及び海上通信関連の最新動向 ②機器取扱い上の留意事項 ③積付け(積み降ろし) 時の留意事項 実技：積付け、外観点検時の注意事項

(8) 磁気コンパスアジャスタ講習会・研修会の開催

日本コンパスアジャスタ協会と共催で、本年度は磁気コンパスの修正のための基礎理論及び基礎実技を取得するための講習会 (A 講習会) 及び A 講習会の修了者を対象にした新規資格取得者のための講習会 (B 講習会) を開催し、B 講習会においては、昨年度以前の A 講習会修了者 9 名が受講し 7 名が合格して新たにコンパスアジャスタの資格を取得した。

また、コンパスアジャスタ (有資格者) の技能の維持、向上を図るための研修会を開催した。

[A 講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H25. 8. 19 (月) ～ H25. 8. 25 (日)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都港区) (受講者 6名)	1. 磁気コンパスの種類、構造と取扱い 2. 物質の磁性と地磁気、時差測定法 3. 時差理論、時差修正法 4. 傾船差理論及び修正 5. 実技実習及び模擬試験

[B 講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
25. 8. 27(火) ～ H25. 8. 30(金)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都港区) (受講者 9名)	1. 時差理論、自差修正 2. 傾船差理論、傾船差修正 3. 自差修正実技 4. 技量認定試験(学科、実技)

[研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H25. 7. 9(火) ～ H25. 7. 10(水)	MC福山ビル (福山市) (受講者 9名)	1. 南半球へ航海する船舶の過大自差発生対策 ーフリンダースバーの適正な使用法ー
H25. 8. 19(月) ～ H25. 8. 20(火)	東京海洋大学 品川キャンパス (東京都港区) (受講者 4名)	2. 自差修正に関する質疑応答  (受講者合計 13名)

(9) イマーション・スーツ整備技術講習会・研修会の開催

IMO の基準に定められた有資格者による点検整備要領に対応するため、資格を有する技術者の養成、確保を図ることを目的として、イマーション・スーツの保守点検整備に従事しようとする者を対象に、会員のイマーション・スーツ製造事業者3社と共同で講習会及び研修会を開催し、所期の目的を達成した。

この講習会の結果、12名を新たにイマーション・スーツ整備技術者として認定した。

また、平成21年度に実施した第3回講習会において整備技術者資格を取得して、平成26年3月31日で有効期限が到来する整備技術者9名を対象にイマーション・スーツ整備技術研修会を開催し、受講者全員の資格を更新した。

[イマーション・スーツ整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 3. 3 (月) ～ H26. 3. 4 (火)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者 12名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修 4. 着用実習

[イマーショングッズ整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 3. 3 (月)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者 9名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備 2. 気密試験 3. 補修



実技講習 (気密試験)



実技講習 (着用実習)

(10) 膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会の開催

膨脹式救命胴衣、作業用救命衣(膨脹式)、膨脹式救命浮環等の点検整備を行う者の整備技術の向上を図るため、会員の膨脹式救命胴衣等及び部品の製造事業者10社と共同で講習会を開催し、初期の目的を達成することができた。

この講習会の結果、18名を新たに膨脹式救命胴衣等整備技術者として認定した。

また、平成21年度に実施した第1回講習会において整備技術者資格を取得して、平成26年3月31日で有効期限が到来する整備技術者40名を対象に膨脹式救命胴衣等整備技術研修会を開催し、受講者全員の資格を更新した。

[膨脹式救命胴衣等整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H25. 7. 30 (火) ～ H25. 7. 31 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者 18名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備、部品交換 2. 折り畳み・収納

[膨脹式救命胴衣等整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H25. 7. 31 (水)	東京海洋大学 越中島キャンパス 越中島会館 (東京都江東区) (受講者 40 名)	講義 1. 関係規則、整備要領 2. 構造材料等 実技 1. 点検整備、部品交換 2. 折り畳み・収納



実技講習（折り畳み収納）



実技講習（着用して膨脹）

また、関係会員と共同で膨脹式救命胴衣等の自己点検要領のDVDを製作し、漁業関係者等必要なユーザーに活用してもらえよう配布した。なお、DVDの内容等については、膨脹式救命胴衣等整備技術講習会・研修会の実施方法を審議・検討する委員会において審議、検討を行った。

(1 1) 船舶用消防設備整備技術講習会の開催

船舶用消防設備の保守、点検、整備については、2002年7月に発効したSOLAS条約の改正により定期的整備が義務づけられ、IMOの定めるガイドラインに従って確実な点検・整備を行うことが求められている。

そこで、船舶用消防設備の点検整備を行う技術者の養成について、会員である船舶用消防設備（固定式炭酸ガス消火装置、固定式泡消火装置、固定式粉末消火装置、局所消火装置、火災探知装置、消火器及び個人装具）のメーカー8社と共同して、「船舶用消防設備整備技術講習会」を開催することとした。本年度は第3回講習会を開催して15名が受講、全員を船舶用消防設備整備技術者として認定した。

なお、今年度から募集範囲を拡大し、造船所等からも受講者を募集した。



実技講習（固定式炭酸ガス消火装置）



実技講習（火災探知装置）

[船舶用消防設備整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H26. 2. 26 (水) ～ H26. 2. 28 (金)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (受講者 15 名)	学科 1. 基礎知識、関係国際規則 実技 1. 各装置の概要 2. 各装置の点検整備要領

(1 2) 品管時報及びSS ニュースの刊行

定期的な刊行物として、国際海事機関 (IMO) の船用品等に関する技術要件改正作業の動向、国内関係法令の改正、通達等の内容、その他会員の参考となる各種情報を内容とする品管時報及びSS ニュースを定期的に発行した。

品管時報については、従来からの配布先に加え、当会の事業に関係する業界にも幅広く周知すべく、国内の造船事業者約 70 社に対して 1 年間試験送付を行った結果、アンケート調査で特に配布を希望した約 40 の事業所に対して今年度より継続して配布することとした。

(1 3) ホームページによる情報提供

ホームページを見やすく、分かりやすく、大幅に改修し、会員をはじめ多くの海事関係者に船用機器や船用品の製造・整備に関する各種情報を提供した。

### 3 救命艇装置の安全性向上のための人材養成

SOLAS 条約の改正により救命艇及び進水装置 (救命艇装置) の整備については有資格者による年次点検等が義務づけられたことに対応し、点検整備を行う有資格者の養成、確保することを目的に、平成 17 年度から会員の救命艇装置事業者 9 社と共同して講習会を開催している。

平成 25 年度は海外の事業所に所属する技術者を対象とした海外向け講習会 (英語を使用) を 1 回開催した。講習会には、24 事業場から 36 名が参加し、講習 5 日及び試験 1 日を実施した。

36 名全員が試験に合格し、合格者に対し救命艇装置整備技術者の資格を付与した。また資格の

有効期限が到来する救命艇装置整備技術者の資格更新のための研修会を2回開催し、受講者64名の資格を更新した。

平成25年度に自由降下式救命艇の離脱装置、救助艇の離脱装置及びFRP補修機材等を教材として追加整備した。そしてこの教材を利用して、講習会、研修会ともに、従来の研修内容に追加して自由降下式救命艇装置、救助艇装置の整備、FRP補修等に関する研修を行った。

[救命艇装置整備技術講習会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H25. 9. 6(金) ～ H25. 9. 11(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外向け講習会)  (受講者 36名)	学科講習 1. 救命艇装置整備の背景、事故事例、関係規則 2. 救命艇の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 3. 離脱装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 4. 進水装置の基礎知識、構造、操作要領、保守点検整備要領 実技講習 1. 救命艇装置の操作、保守点検整備 2. 離脱装置の操作、保守点検解放整備 3. ボートウインチの保守点検解放整備 4. FRP製救命艇の補修要領 技量認定試験 1. 学科試験 2. 実技試験

[救命艇装置整備技術研修会]

実施日	場 所	実 施 内 容
H25. 8. 19(月) ～ H25. 8. 20(火)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外/国内向け研修会) (受講者 37名)	学科講習 1. MSC/Circ.1206/rev.1等の改正と救命艇の整備に対するPSCの結果について 2. 救命艇装置の整備点検における問題点について 3. 進水装置の整備点検における問題点について 実技講習 1. 離脱装置のトラブルシューティングと部品交換要領 2. ウインチの不具合事例と各種部品交換要領 3. 救命艇・進水装置の保守点検時の不具合事例と対処要領 4. FRP製救命艇の補修要領
H26. 3. 5(水) ～ H26. 3. 6(木)	東京海洋大学 越中島キャンパス (東京都江東区) (海外/国内向け研修会) (受講者 27名)	





講習会 (H25. 9. 6～11)



研修会 (H25. 8. 19, 20)



研修会 (H26. 3. 5, 6)

#### 4 相談

検査制度及び品質管理全般について、会員或いは一般からの相談、質問等を受け、適宜対応した。

これらの各相談、質問等については、必要に応じ関係官庁等と連絡をとりながら、対応した。

#### 5 刊行物

- (1) 品管時報 (6回)
- (2) SS ニュース (2回)
- (3) 国土交通省型式承認物件一覧表